

1 PLAN(目的・概要)

政策名	港湾の安全確保と大規模災害にも対応できる地域防災を目指した港づくり			30年度事業・施策評価結果		責任者	港営部 管財課長
施策名	港の安全性・信頼性・危機管理の向上			成果	コスト		
事務事業名	港内流出防止柵等設置					連絡先	052-654-7876
対象(誰・何を)	完成自動車					連携課	港営課
目的 意図(どうい う状態にしたいか)	高潮・暴風による完成自動車の流出を防止します。					事業 期間	令和元年度
概要	伊勢湾台風クラスの台風発生時の対策として、物流・生産活動への影響を最小限に抑え、早期回復を目指すため、水際付近にあるモータープールにガードレール又は車止めを設置し自動車流出を防止します。					根拠 法令等	
令和元年度の実施予定	金城ふ頭 ガードレール設置 車止め設置 弥富ふ頭 ガードレール設置 空見ふ頭 ガードレール設置					実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
						関連 シート	

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	金城ふ頭にはガードレール設置及び車止め設置、弥富ふ頭及び空見ふ頭にはガードレール設置を行いました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	合計	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円			41,563	41,563	
人件費	千円			917	917	
合計	千円			42,480	42,480	

3 CHECK(検証)

成果目標名		29年度	30年度	元年度	最終目標	1	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
事業進捗率(%) (進行管理型)	目標			100		100	ガードレール又は車止めの設置の進捗率とします。	
	実績			100				
	事業進捗状況(元年度)		順調・やや遅れ・遅れ					
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	ガードレール 車止めの設置を100%実施しました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 伊勢湾台風クラスの台風発生時の対策として、物流・生産活動への影響を最小限に抑え、早期回復を目指すため必要となります。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○ 伊勢湾台風クラスの台風発生時の対策として、物流・生産活動への影響を最小限に抑え、早期回復を目指すため有効となります。						
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○ コストが最小になるよう精査して事業を進めました。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性			判断理由
		成果	コスト	
完了				水際付近にあるモータープールにガードレール又は車止めを設置し、高潮・暴風による完成自動車の流出防止措置をしたため。
課題				2年度以降の取組